令和４年度　第２回健康福祉審議会健康分科会　議事録

日　　時：令和５年２月 27 日（月）14:00～15:00
場　　所：加賀市役所別館　302・303 会議室
出席委員：新澤委員、橋本委員、光谷委員、田端委員、中田委員、北井委員、
木戸口委員、角地委員、岡崎委員、藪下委員、家元委員、谷本委員、後出委員、
山根委員
欠席委員：川向委員、松本委員
（委員 16 名中 14 名の参加により過半数に達しており、健康福祉審議会の規定数に達しているため会議は成立）

次第
１．開　　会
２．あいさつ　　奥村市民健康部長
３．議題
議事進行：北井会長
(1) 令和４年度の取り組み状況及び令和５年度の重点事項について
①健康増進事業について　資料１参照
質疑応答
後出委員：2 ページ目の健診受診率向上対策について
令和３年度、なぜ受診率が最下位になったのか聞きたい。また、他市町はどのような取組みをしているのか。
保健推進員が健診受診料が無料の 40 歳、65 歳の人に健診勧奨をしているが、ここ数年、41 歳、66 歳にも勧奨対象を増やしたことで、人口が多い地区の保健推進員に負担はないか。地域に負担をかけないような良いアイデアはないか。
藪下委員：保健事業にすごく力を入れているので結果に驚いた。受診率が低い原因は何か。
事 務 局：医療機関にかかっている方が多い状況で、対象者からは、かかりつけで診てもらっているので、健診は受診しなくてもよいのではないかという意見が多い。
各医療機関からは、コロナワクチン接種の時間を確保するために、健診の時間を半日しか確保できなかった状況等を聞いている。
新澤委員：年代で受診率に差があるのか。差があるのであれば、年代に応じた効果的な対策を練らなければならないのではないか。
事 務 局：40 代は 20%、50 歳を超えると 30%、70 代を超えると 40%台となっている。
若い世代には訪問や電話等で連絡するも連絡が取りにくい状況だが、引き続き勧奨していきたい。
橋本委員：確かに昨年度はワクチン接種のため、健診の期間は短くなってしまったように

思う。ただ、他市町も同じ状況なら健診受診率が低いのはワクチン接種の理由ではないかもしれない。

北井会長：コロナの感染を心配し、健診受診を控えていた声も聞いている。複合的な要因はありそうだ。健診期間を延ばしたり、土曜日に健診の機会を設けてほしい等要望はあるか。

事 務 局：土日の健診もしており、他市町の勧奨方法を確認しても、特段加賀市と違う取組みはしていない。

加賀市は普段の受診でのデータを提供していただく、「みなし健診」の割合が低い状況のため、来年度は医療機関に協力を得て、みなし健診の受診率を上げる強化していく予定である。

北井会長：医療機関の協力は不可欠となる。この場で周知したいことはあるか。

事 務 局：あらゆる機会を設けて、受診率向上に向けての周知をしていきたい。

後出委員：受診率が伸びている市町があれば、取り組みについても確認することが、加賀市での対策の参考になるのではないか。

新澤委員：他市町で受診率が高いところがどのような理由か疑問だった。みなし健診の率が高い傾向なのか。

事 務 局：確かに受診率が高い市は、みなし健診の率は高い。

実際は受診にて健康状態が確認されている。実態を受診率に反映できればよいと思う。

岡崎委員：みなし健診はわざわざ個人で記載しなくてもいいように、マイナンバーで共有はできないのか。保険証機能で共有できそうだが。

事 務 局：健診を受診するか、データ提供をしないと、マイナンバーに登録されない。また、データ提供には本人の同意も必要となる。健診案内にも健診を受診するかデータ提供か、どちらかを選んでもらうよう案内をしている。

北井会長：マイナンバーと電子カルテの共有がなかなか進まない現状ではあるが、今後数年のうちには進んでいくのではないか。

山根委員：データ提供の同意書を出している方は、どれくらいの割合か。

事 務 局：人間ドックを受診している人もみなし健診扱いとなり、約 4,000 人の健診受診者のうち、みなし健診扱いの方は 800 人で、約 5 分の 1 の割合である。

木戸口委員：歯周病検診について

個人的に歯のメンテナンスの必要性がわかり、子ども世代にも伝えてきている。周囲にも自分でメンテナンスをしている人が多い。そのような人は、歯周病検診の受診率には入っていないのか。

自分でメンテナンスをしている人もいるのに、受診率に反映していないのがもったいないと感じた。アンケートで実態を把握できるのではないかと思った。

光谷委員：歯周病検診は、歯について意識をするきっかけにしてもらう意味合いもある。まだまだ定期的に歯科医にかかっている人は少ないが、予防についての意識が高くなってきているのは感じている。

事 務 局：受診率向上対策についての資料作成において、定義が定まっておらず、わかりにくい表現となっているので、次回その点について見直していく。

②予防接種事業について　資料２参照

質疑応答

北井会長：2，4，9 価とはウイルスの種類で、9 価が一番多く種類が入っており、より効果的なワクチンになる。ぜひ周囲の方に接種を勧めてほしい。

③新型コロナウイルス感染症対策について　資料３参照

補足：4 月以降の具体的な接種方針については国で審議中であり、3 月上旬には正式決定の予定だ。令和５年度は全ての方を対象に秋冬にかけて１回、65 歳以上の方や基礎疾患を有する人は前倒しで春夏に前倒しで１回接種の案が示されている。

質疑応答

なし

（2）その他

全議案についての質疑応答

後出委員：帯状疱疹にかかるととても症状がひどくなることや、コロナにより免疫が落ちて帯状疱疹になりやすくなるという話も聞いたことがある。医師に聞くと、ワクチンがあるがとても高価なものだった。補助をしている市町村もあると聞いたが、補助について検討して欲しい。

事 務 局：帯状疱疹については、国で定期接種化が検討されている。県内では一市のみ補助をしており、加賀市でも検討している。

北井会長：令和５年度の計画については特に意見無かったがよろしいか。

他 委 員：なし。

事 務 局：次回は、5 月か 6 月頃に令和５年度１回の開催予定である。